



## 1 事業の総括

支援対象ミンダナオ島でも新型コロナウイルス感染拡大が継続したが、事業地域は人口密度が低い山岳部であり、ロックダウン等による事業中断はなかった。支援活動で重点を置いたものとしては、下記のような今後の団体運営に関連して、近い将来の活動終了を前提に、自主財源創出のヤギ等畜産振興等の事業を2地域で実施した。

国内活動に関しては、ウェブ開催イベントへの対応の遅れから、活動全般の広報や製品販売は限定的だった。

団体運営については、世代交代が進まない中、長期に渡る支援の成果・現地の自立進展を前向きに評価し、近い将来の法人解散も視野に今後検討を進めるという将来計画を10月の会報発行時に会員と共有した。

## 2 各事業分野における活動報告

### 1) 医療分野の事業

**助産所運営支援：**2002年以降継続してきたモロ民族女性の医療チーム PIHS との協働事業。主にモロ民族の村での医療保健研修及び保健ボランティアの育成、その成果を受けて2017年12月に開設、翌2018年8月に認可を受けた助産所は、月平均出産介助15、妊婦検診及び家族計画研修各14名と実績を伸ばし、一方で、妊産婦の保険加入研修により保険収入も増加した。また、予防接種や割礼など行政からの委託事業収入もあったが、近隣貧困世帯の一般患者緊急対応などによる経費も増加。当団体は人件費や医薬品代を引き続き支援した。また、14年前に贈呈の診療車が使用不可となり、新たに中古診療車購入を支援した。

**ビラーンの村ボルーの患者支援：**コロナ患者対応による公立病院の貧困世帯の患者受け入れ枠減少の中、高額な私立病院入院費が払えない患者が増え、緊急支援要請を受けて、TBA 経由で医療費支援を行った。

### 2) 教育・人材育成の事業

SDGs「質の高い教育をみんなに」に関連した辺境を含む子どもの初等教育普及のため、また、各種知識・技能を持つ先住民族の専門家育成のための事業を現地パートナー5団体と協働した。

**CMIP との協働：**① 辺境の初等教育施設4校の給食支援 ② 医大生を含むカレッジ生8、ハイスクール生20、小学生4、計32名への奨学金支給、および、寮生指導を含む奨学生管理者の手当てを支援。

**SCMSI との協働：**① 従来の学校運営全体支援から里子16名を対象とする奨学金支給を実施した。また、SCMSI 以外の外部大学で学ぶカレッジ生4名についても引き続き奨学金で支援した。② 1980年以降継続した日本の市民による SCMSI 支援の記念として、9月のSCM 創立設立記念祭（レムルナイ）に寄付をした。

**ILS との協働：**① 辺境のチボリ民族年少児童のための教育普及に対して、教師給与及び給食支援を実施した。

**その他カレッジ奨学金支援：**① PIHS 経由臨床検査技師コース2年ザイラ ② TBA 経由2名(うち1名中退)

### 3) 農村開発事業

**ILS との協働：**学校運営費自主財源としてのアヒル、ブタ、ヤギの飼育、及び、バナナ栽培事業は、労働力提供の父母の参加で、各世帯における近い将来の畜産やバナナ栽培に対する知識や技能習得の機会となった。

**TBA との協働：**医療支援費捻出のためのヤギ飼育を通じて住民の畜産に関する知識・技術の習得もめざした。

- 4) 環境保全事業：過去の事業のモニター実施。ただしコロナによる域外への移動制限のため限定的。
- 5) 女性自立：レイクセブ町辺境における竹細工やビーズ細工などの都市部への共同出荷のため、トライスクルの購入を支援。また、幹線道路に沿って、ハンディクラフト展示コーナー設置のための資材費を支援した。
- 6) 広報啓発活動及び事務局運営：対面イベント参加機会がない中、オンライン参加の対応も遅れて、広報面ではホームページでの会報公開、季刊「ビラーン通信」(105-108号)各200部発行等限定的だった。事務局運営は前任の非専従スタッフ関さんに替わり10月から佐々木さんが同じく非専従として勤務。年度末には、事務局ボランティアスタッフ3名のボランティアスタッフ3名の新規参加で、新年度以降の法人継続の可能性を残した。

注：CMIP (Catholic Mission to the Indigenous People, Inc) 先住民族のためのカトリックミッション  
PIHS(Pasasambao Integrated Health Service, Inc.) パササンバオ(連帯の意)総合健康サービス  
SCMSI(Santa Cruz Mission School Inc.) サンタクルスミッション学校法人  
TBA(Tud Bolul Association) タッド・ボルルール住民組合  
ILS (Indigenous Learning School) 先住民族学校

# 令和3年度活動計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

特定非営利活動法人 ピラーンの医療と自立を支える会

## I 経常収益の部

	科目	R3年度予算	R3年度決算	差異	摘要
経常収益	受取会費(社員会費)	216,000	204,500	11,500	6,000円×34口
	寄附・医療自立支援	420,000	409,000	11,000	12000円×34口
	寄附・教育支援	3,700,000	2,599,528	1,100,472	チボリ及びチボリカレッジ支援104万、CMIP經由奨学金・教育全体130万、元フлакール・あしなが24万他
	寄附・一般	1,800,000	3,518,781	▲ 1,718,781	診療車支援、教育・医療事業自主財源用畜産プロジェクト支援ほか
	(受取寄附合計)	5,920,000	6,527,309	▲ 607,309	
	受取助成金	0	0	0	
	事業収益	50,000	10,600	39,400	ハンディクラフト事業収益
	雑収入	1,000	3	997	
	経常収益計	6,187,000	6,742,412	▲ 555,412	

## II 経常費用の部

	科目	R3年度予算	R3年度決算	差異	摘要	
事業費	医療・衛生事業費	940,000	1,804,584	▲ 864,584	PIHS:助産所診療車購入支援110万・運営支援34万、TBA:患者緊急支援36万他	
	人材育成事業費	4,000,000	3,496,855	503,145	チボリ支援105万(SCMSI奨学金、ILS教師給与・給食支援) 医大生他奨学金・給食200万(CMIP) カレッジ奨学金40万(TBA,PIHS) その他各団体あてクリスマスプレゼント	
	農村開発事業費	85,000	886,547	▲ 801,547	ILS(ティオス)及びTBA(ホルル)のヤギ他財源創出・家畜繁殖事業(使途特定寄付充当)	
	環境保全事業費	80,000	14,068	65,932	過去のアグロフォレストリー評価・報告活動(ILS及びTBA經由支援)	
	女性自立事業費	40,000	184,972	▲ 144,972	ティオス女性組合店舗、及び、製品出荷用トリスクル購入支援	
	広報啓発事業費	90,000	60,000	30,000	ホームページ更新謝礼	
	予備事業費	100,000	30,000	70,000	ウクライナ難民支援(難民を助ける会經由)	
	事業費計	5,335,000	6,477,026	▲ 1,142,026		
	管理費	人件費	480,000	278,750	201,250	専従及び非専従スタッフ給与、各1名
		通信費	160,000	174,042	▲ 14,042	NTT、会報発送切手代ほか
旅費・交通費		110,000	25,000	85,000	非専従スタッフ交通費ほか	
印刷・出版費		40,000	18,870	21,130	季刊会報(105号～108号)印刷代他	
会費・会議費		55,000	31,870	23,130	日比NGOネット(JPN)1万、横浜NGOネット(YNN)2年分1万、JANIC7500円他	
手数料		25,000	23,856	1,144	海外送金手数料、振替通知郵送サービス手数料ほか	
消耗品費		30,000	11,402	18,598	プリンターインク代他	
事務局賃借料		120,000	120,000	0	事務局賃借料	
保険料		5,000	519	4,481	労災保険	
管理費計		1,025,000	684,309	340,691		
経常経費計	6,360,000	7,161,335	▲ 801,335			
R3年度末正味財産増減	-173,000	-418,923				
R2年度繰越正味財産額	1,297,318	1,297,318				
R3年度末正味財産額	1,124,318	878,395				

令和3年度貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 ビラールの医療と自立を支える会

科 目	金 額
I 資産の部	
I 流動資産	
現金預金	878,395
流動資産合計	878,395
2 固定資産	
固定資産合計	0
資産合計	878,395
II 負債の部	
1 流動負債	
前受け金	0
流動負債合計	0
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
正味財産	
前期繰越正味財産額	1,297,318
当期正味財産増加額	-418,923
正味財産計	878,395
負債及び正味財産合計	878,395

令和3年度財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 ビラーンの医療と自立を支える会

科 目	金 額
I 資産の部	
I 流動資産	
現金預金	
現金手許有高	8,382
普通預金 三菱UFJ銀行青葉台駅前支店	39,914
三井住友銀行青葉台支店	635,000
ゆうちょ銀行	111,324
郵便振替口座	83,775
流動資産合計	878,395
2 固定資産	
固定資産合計	0
資産合計	878,395
II 負債の部	
1 流動負債	
助成金前受金	0
流動負債合計	0
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	0
正 味 財 産	878,395